
2008年3月期 決算説明会

株式会社 トクヤマ

2008年5月13日



説明内容

1. 07年度 決算説明
2. 08年度 業績予想
3. トピックス



1. 07年度 決算説明

(1) 決算概要

(2) セグメント別売上高/営業利益



(1) 決算概要

- ① 決算概要
- ② 営業外損益明細
- ③ 特別損益明細



① 決算概要

(億円)

	07年度		06年度		増 減			
	連結	単体	連結	単体	連結		単体	
【損益状況】					金額	%	金額	%
売上高	3,074	2,061	2,927	1,926	+146	+5	+134	+7
営業利益	353	285	347	273	+5	+1	+11	+4
経常利益	303	264	316	258	▲12	▲4	+6	+2
当期純利益	188	179	184	155	+4	+2	+24	+15
	08年3月末		07年3月末					
	連結	単体	連結	単体	連結		単体	
【資産状況】								
総資産	3,832	3,212	3,737	3,164	+95		+48	
純資産	2,061	1,817	1,978	1,757	+83		+60	
自己資本比率	51.9%	56.6%	51.4%	55.5%	+0.5%		+1.0%	



② 営業外損益明細

(億円)

		07年度	06年度	差	備 考
営業外収益	受取利息・配当金	9	5	+ 3	
	その他	24	26	▲ 1	
		34	32	+ 1	
営業外費用	支払利息・社債利息	14	15	+ 1	
	その他	68	47	▲ 21	為替差損▲12
		83	62	▲ 20	
営業外損益		▲ 49	▲ 30	▲ 18	



③ 特別損益明細

(億円)

	07年度	06年度	差	備 考
特別利益	22	16	+ 5	
特別損失	16	35	+18	固定資産減損損失、退職給付制度変更の影響が無くなったことによる改善
特別損益	+ 5	▲ 18	+23	



(2) セグメント別 売上高/営業利益

(億円)

	07年度		06年度		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	1,183	47	1,125	82	+ 57	+ 5	▲34	▲42
トクヤマ	891	23	819	47	+ 71	-	▲23	-
Gr. 会社(連結修正含む)	292	24	305	35	▲13	-	▲10	-
特殊品	1,012	305	905	258	+107	+11	+ 47	+18
トクヤマ	760	278	681	235	+ 78	-	+ 42	-
Gr. 会社(連結修正含む)	252	27	223	22	+ 28	-	+ 4	-
セメント建材・他	878	36	897	42	▲18	▲ 2	▲ 5	▲12
トクヤマ	410	20	425	26	▲15	-	▲ 5	-
Gr. 会社(連結修正含む)	467	16	471	15	▲ 3	-	+ 0	-
計	3,074	389	2,927	382	+146	-	+ 7	-
セグメント間消去・全社費用	-	▲36	-	▲35	-	-	▲ 1	-
連結決算	3,074	353	2,927	347	+146	+ 5	+ 5	+ 1



セグメント別増減要因 化学品

(億円)

	07年度		06年度		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	1,183	47	1,125	82	+ 57	+ 5	▲ 34	▲ 42
トクヤマ	891	23	819	47	+ 71	-	▲ 23	-
Gr. 会社(連結修正含む)	292	24	305	35	▲ 13	-	▲ 10	-

◆売上高：価格是正は達成したが、特にグループ会社で数量減も影響
天津陽光売却による減収 約▲ 1 8 億円（利益改善 約 3 億円）

◆営業利益：原燃料高騰・固定費増を価格是正では補いきれず



セグメント別増減要因 特殊品

(億円)

	07年度		06年度		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
特殊品	1,012	305	905	258	+107	+11	+ 47	+18
トクヤマ	760	278	681	235	+ 78	-	+ 42	-
Gr. 会社(連結修正含む)	252	27	223	22	+ 28	-	+ 4	-

◆売上高：多結晶シリコン、乾式シリカ、トクヤマサイアムシリカ、エアント[®]ティーが好調

◆営業利益：コストアップ要因もあり、営業増益幅を圧縮



セグメント別増減要因 セメント建材他

(億円)

	07年度		06年度		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
セメント建材・他	878	36	897	42	▲18	▲2	▲5	▲12
トクヤマ	410	20	425	26	▲15	-	▲5	-
Gr. 会社(連結修正含む)	467	16	471	15	▲3	-	+0	-

◆売上高：価格是正継続するも、数量減により減収。資源環境事業は好調

◆営業利益：

セメントは原燃料高騰、固定費増等により減益、資源環境事業は好調
グループではシャノン苦戦も、生コン会社・販社が善戦

(ご参考) セグメント別 売上高/営業利益(予想比)

(億円)

	07実績		07/修正予想		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	1,183	47	1,173	55	+10	+0	▲ 7	▲13
特殊品	1,012	305	1,021	293	▲ 8	▲0	+12	+ 4
セメント建材・他	878	36	896	40	▲17	▲1	▲ 3	▲ 7
計	3,074	389	3,090	388	▲15	▲0	+ 1	+ 0
セグメント間消去・全社費用	-	▲36	-	▲38	-	-	+ 1	
連結決算	3,074	353	3,090	350	▲15	▲0	+ 3	+ 0

※修正予想は中間決算発表時データ



2. 08年度 業績予想

(1) 事業環境

(2) 業績予想



(1) 事業環境

④ 原燃料価格の高騰が常態化

化学品、セメントのみならず、特殊品へも大きく影響

④ セメントの価格是正が認められる市場環境へ

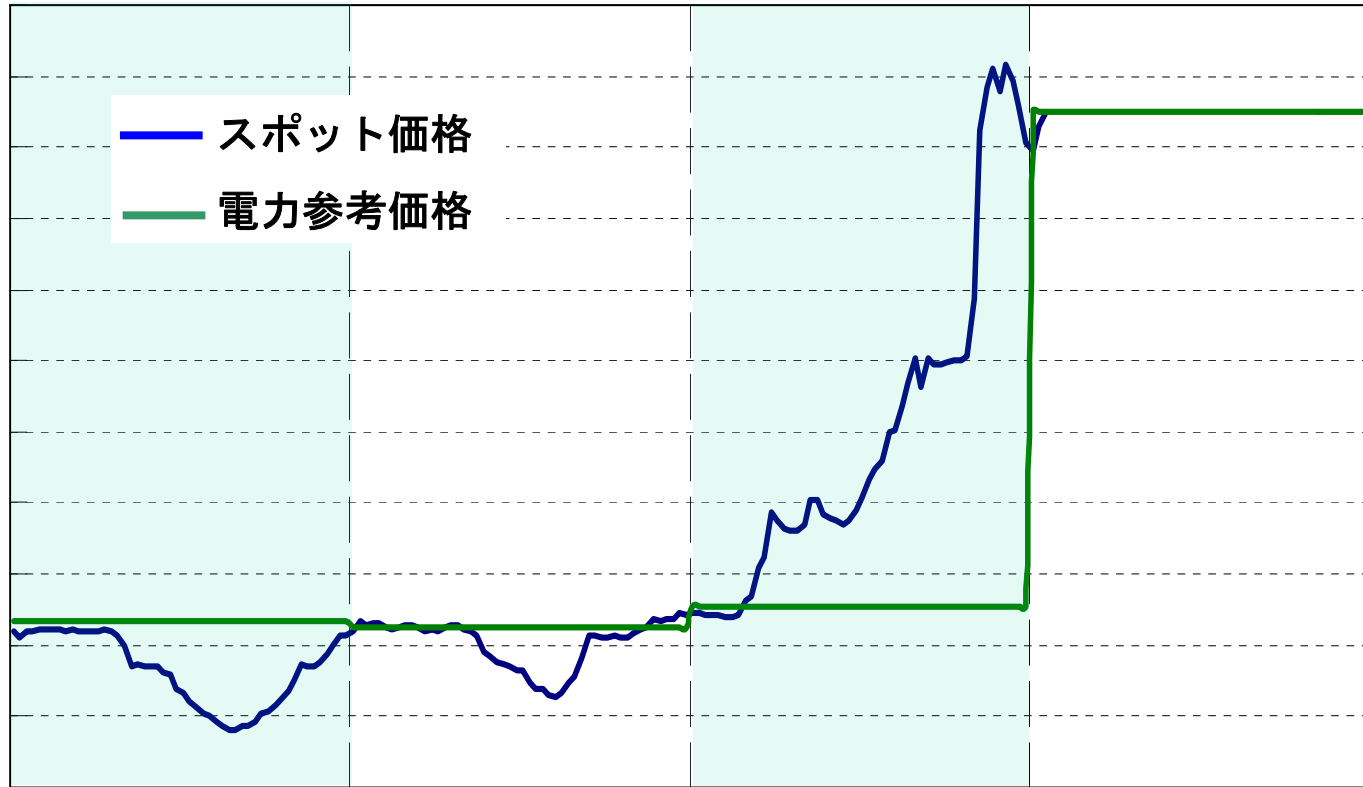
④ 多結晶シリコン需要は引続き好調



豪州石炭価格推移

(USD/t)

140.00
130.00
120.00
110.00
100.00
90.00
80.00
70.00
60.00
50.00
40.00
30.00



2005年度

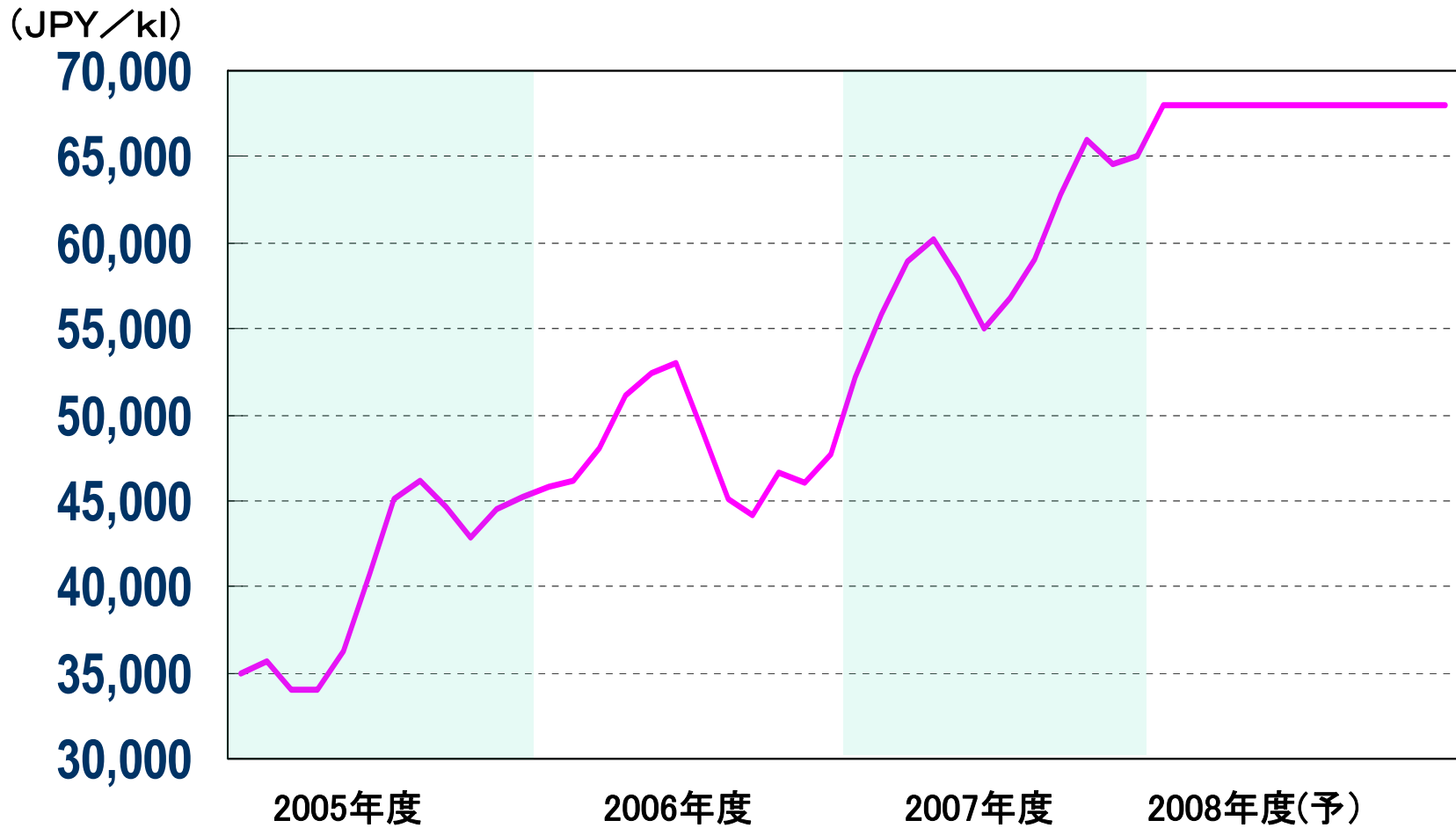
2006年度

2007年度

2008年度(予)



国産ナフサ価格推移



(2) 業績予想

- ① 08年度業績予想の前提
- ② セグメント別 売上高/営業利益(予想)
- ③ セグメント別 上・下・通期
売上高/営業利益(予想)
- ④ セグメント別 売上高推移
- ⑤ セグメント別 営業利益推移
- ⑥ ここ10年間の業績推移



① 08年度業績予想の前提

	08年度 会社予想	07上 実績	07下 実績
ナフサ (円/KL)	68,000	58,700	64,100
為替 (円/\$)	105	119	109

(億円)

変動要因；対前年度比 (単体)	影響額
価格修正織込み	+170
石炭、ナフサ、金属珪素、原塩等の上昇	▲150
償却費、補修費、人件費等の増加	▲60



② セグメント別 売上高/営業利益(予想)

(億円)

	08/通期予想		07/通期実績		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	1,300	42	1,183	47	+116	+ 9	▲ 5	▲11
トクヤマ	1,013	21	891	23	+121	-	▲ 2	-
Gr. 会社(連結修正含む)	287	21	292	24	▲ 5	-	▲ 3	-
特殊品	1,090	277	1,012	305	+ 77	+ 7	▲28	▲ 9
トクヤマ	800	252	760	278	+ 39	-	▲26	-
Gr. 会社(連結修正含む)	290	25	252	27	+ 37	-	▲ 2	-
セメント建材・他	920	26	878	36	+ 41	+ 4	▲10	▲29
トクヤマ	447	17	410	20	+ 36	-	▲ 3	-
Gr. 会社(連結修正含む)	473	9	467	16	+ 5	-	▲ 7	-
計	3,310	345	3,074	389	+235	-	▲44	-
セグメント間消去・全社費用	-	▲45	-	▲36	-	-	▲ 8	-
連結決算	3,310	300	3,074	353	+235	+ 7	▲53	▲15

※今期より出向者労務費差額負担 16 億円を営業外費用⇒営業費用に算入

セグメント別増減要因 化学品(予想)

(億円)

	08/通期予想		07/通期実績		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	1,300	42	1,183	47	+116	+9	▲5	▲11
トクヤマ	1,013	21	891	23	+121	-	▲2	-
Gr. 会社(連結修正含む)	287	21	292	24	▲5	-	▲3	-

◆売上高：大幅な価格是正を織込む

グループ：天津陽光売却▲8など

◆営業利益：石炭、原塩、固定費のコスト負担が重い

グループ：労務費差額負担の影響▲4億ほか



セグメント別増減要因 特殊品(予想)

(億円)

	08/通期予想		07/通期実績		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
特殊品	1,090	277	1,012	305	+ 77	+ 7	▲28	▲ 9
トクヤマ	800	252	760	278	+ 39	-	▲26	-
Gr. 会社(連結修正含む)	290	25	252	27	+ 37	-	▲ 2	-

◆売上高：多結晶シリコン、乾式シリカ、新会社が増収に寄与

本 体：多結晶シリコン価格是正と為替影響を含む
 グループ：新会社 徳山化工、TDパワーマテリアル、蘇州徳瑞

◆営業利益：原燃料高騰、固定費等の増加により減益

グループ：労務費差額負担の影響▲ 6

セグメント別増減要因 セメント建材他(予想)

(億円)

	08/通期予想		07/通期実績		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
セメント建材・他	920	26	878	36	+ 41	+ 4	▲10	▲29
トクヤマ	447	17	410	20	+ 36	-	▲ 3	-
Gr. 会社(連結修正含む)	473	9	467	16	+ 5	-	▲ 7	-

◆売上高：価格是正を織込み

グループ：販社は価格是正で増収、出荷減等で生コン、シャノン減収

◆営業利益：

本 体：価格是正・合理化努力も石炭、固定費等のコスト増で減益

グループ：労務費差額負担の影響▲7



③ セグメント別 上・下・通期 売上高/営業利益(予想)

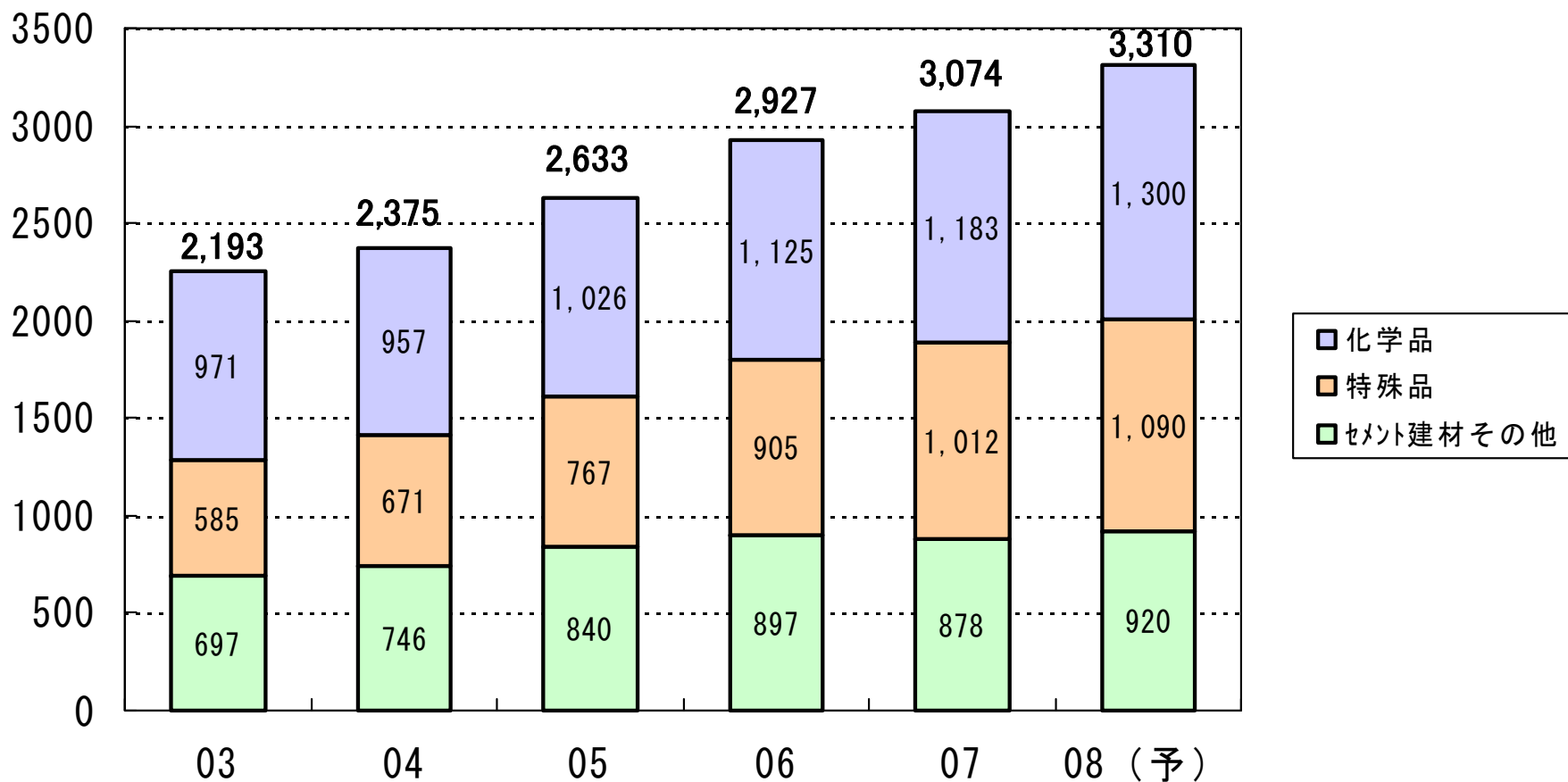
(億円)

	08/上 予想		08/下 予想		08/通期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化学品	638	22	662	20	1,300	42
特殊品	537	141	553	136	1,090	277
セメント建材・他	435	4	485	22	920	26
計	1,610	167	1,700	178	3,310	345
セグメント間消去・全社費用	—	▲22		▲23	—	▲45
連結決算	1,610	145	1,700	155	3,310	300



④ セグメント別 売上高推移

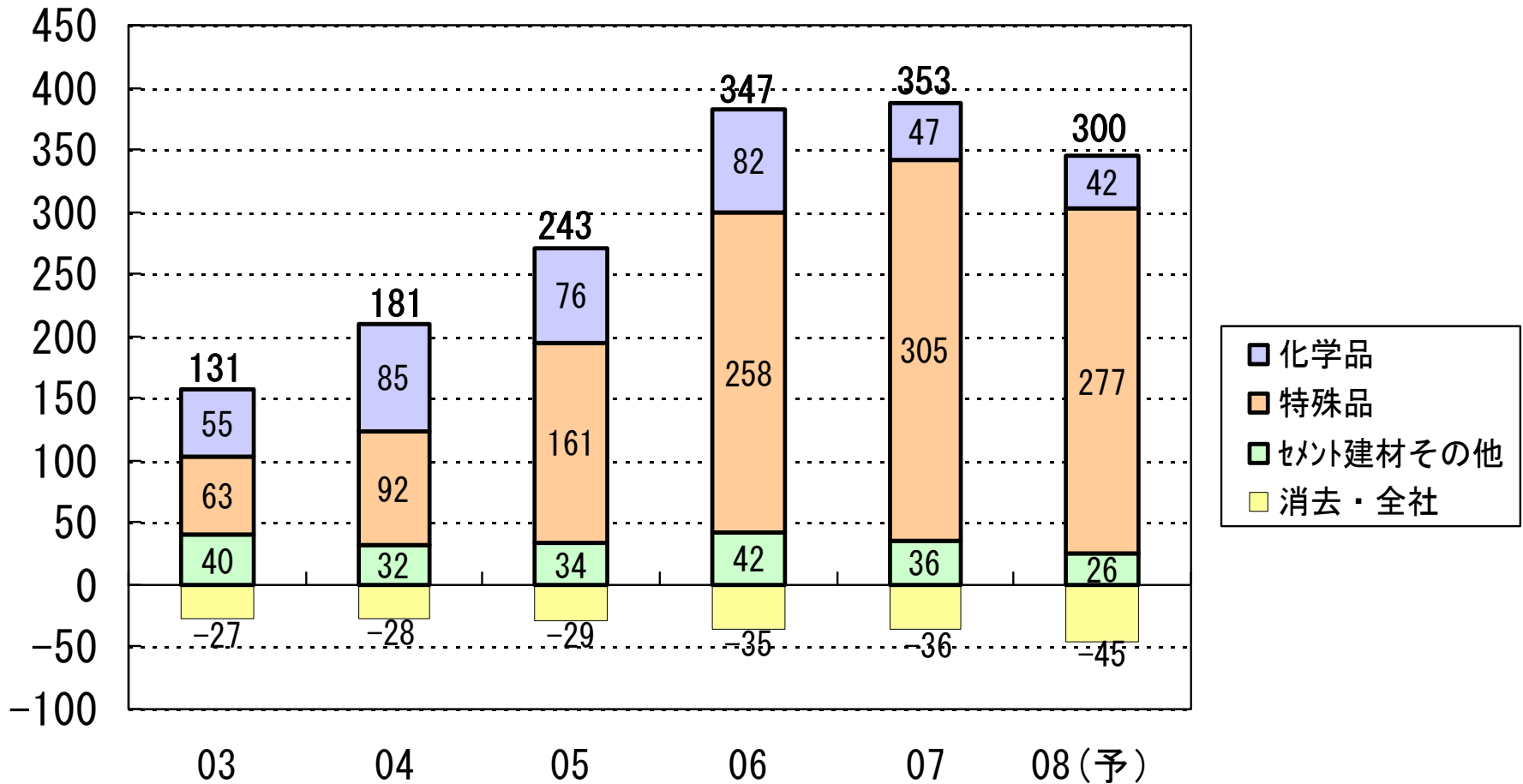
(億円)



⑤ セグメント別 営業利益推移

(億円)

(03年度以降は新会計処理方法により表示)

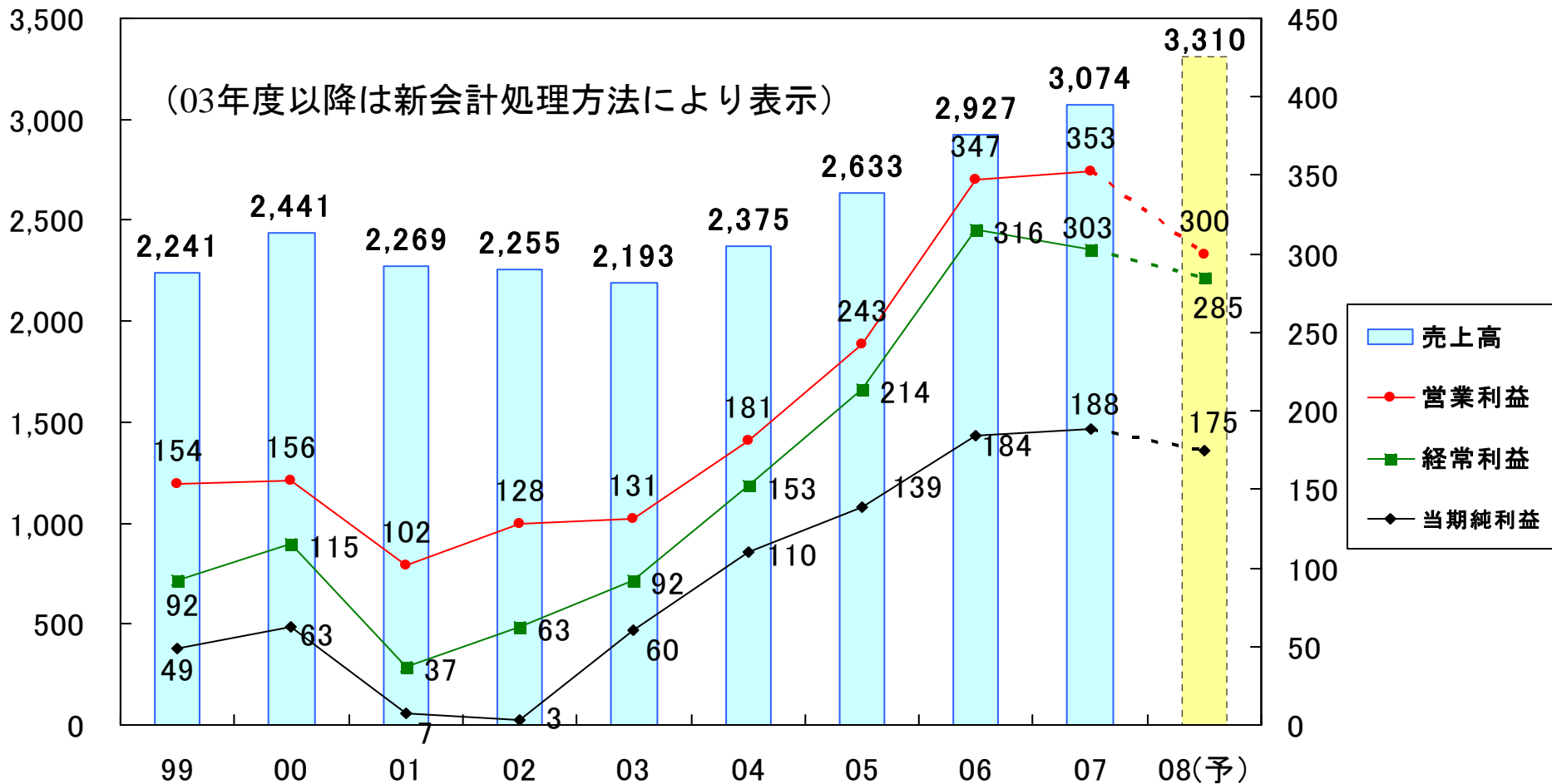


⑥ ここ10年間の業績推移（連結）

売上高(億円)

利益(億円)

(03年度以降は新会計処理方法により表示)



3. トピックス

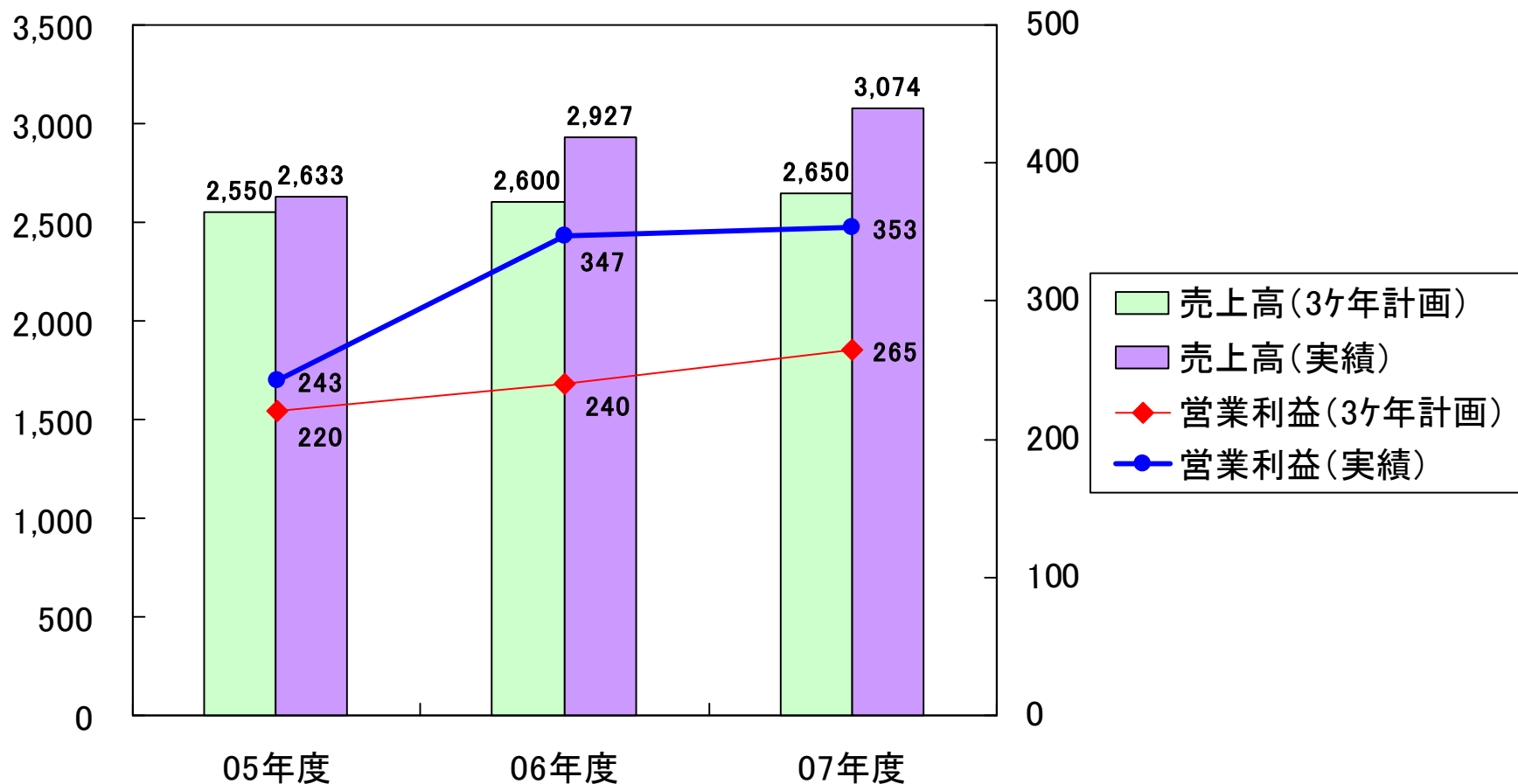
- (1) 前3カ年計画の達成状況
- (2) 多結晶シリコンの事業展開
- (3) グループ会社の異動状況
- (4) 研究開発の進捗
- (5) バルクターミナル構想



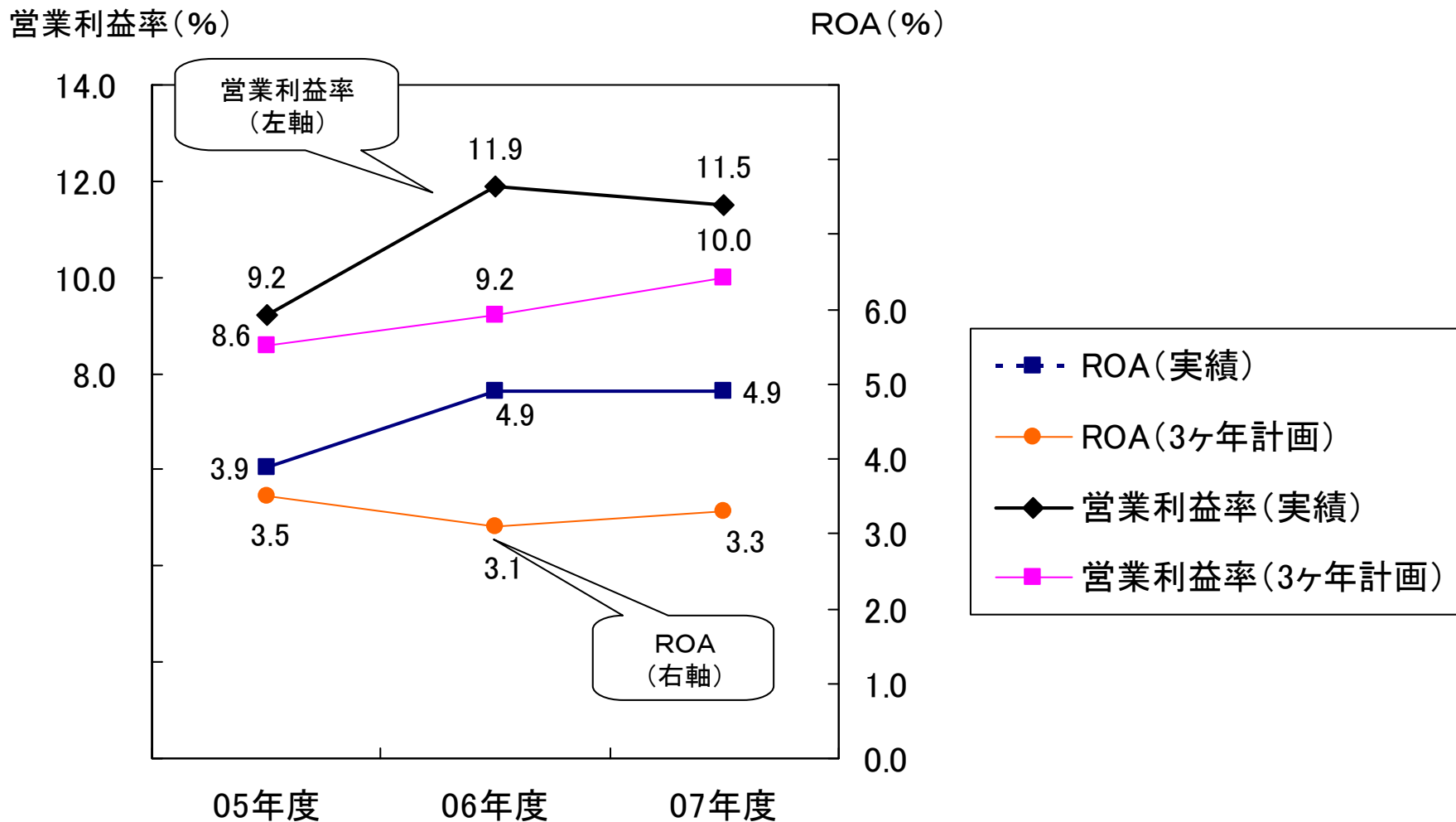
(1) 前3カ年計画の達成状況

売上高(億円)

営業利益(億円)



(1) 前3カ年計画の達成状況



(2) 多結晶シリコンの事業展開

▶ ジーメンズ法増設計画の進捗

▶ 09年春の完成に向けて順調に工事進行中



(2) 多結晶シリコンの事業展開

- ▶ Si 第2拠点(GSE)プロジェクト
 - ▶ 国内外で3ヶ所の候補を調査中、今年中に場所決定
- ▶ VLD実証試験の進捗
 - ▶ 技術確立に向け実証試験継続中



VLD実証プラント



VLD実証プラントでの試作品



(3) グループ会社の異動状況

① グループ会社株式持分変更

- ▶ 天津陽光塑料の持分譲渡(07年7月)
- ▶ 天津フィガロの持分譲受(07年9月)
- ▶ (株)エイアンドティーの株式一部譲渡(08年2月)
- ▶ 大日本プラスチック(株)の株式売却(08年3月)

② グループ会社の事業強化

- ▶ トクヤマ코리아設立(08年1月)
韓国での乾式シリカの販売強化
- ▶ 新第一塩ビ(株)高岡工場の閉鎖(08年3月)
- ▶ (株)シャノン、(株)カネカの樹脂サッシ事業統合発表
(08年10月統合予定)



(3) グループ会社の異動状況

▶ 徳山化工、TDパワーマテリアルの操業開始



徳山化工(浙江)有限公司

07年10月開業、12月商業運転開始



TDパワーマテリアル(株)

08年3月竣工、08年4月操業開始



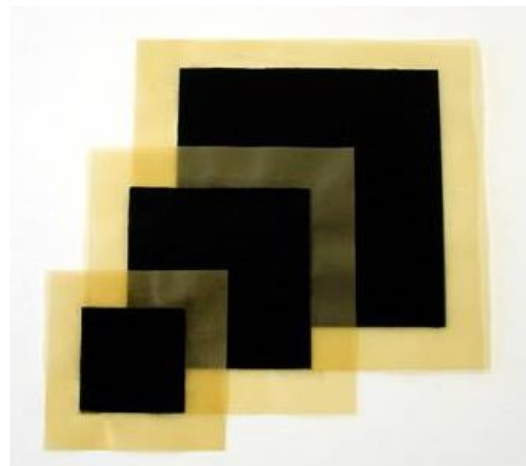
(4) 研究開発の進捗状況

▶ 燃料電池用炭化水素系電解質膜(携帯端末用)

- ▶ 旭化成ケミカルズとカチオン型電解質膜の共同開発開始
- ▶ 高出力タイプと低メタノール透過タイプで、最高レベルのカチオン型炭化水素系電解質膜を開発
- ▶ 貴金属触媒が不要なアニオン型電解質膜も注目を集める



カチオン型炭化水素系電解質膜



膜電極接合体



(5) バルクターミナル構想

▶ 出光興産、徳山海陸運送との3者間で、合理化効果の検証作業を進行中

▶ 投資額100億円予定

▶ パナマックス級の運用による物流コストの削減

バルクターミナル予定地(東工場)



生活を奏でる化学です

TOKUYAMA



(1) 主要指標 ①

		07年度		06年度		差	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	億円	370	274	226	201	+143	+ 73
減価償却実施額	億円	214	176	181	144	+ 33	+ 31
研究開発費	億円	111	92	107	87	+ 4	+ 4
期末有利子負債残高	億円	642	513	720	611	▲77	▲97
金融収支	億円	▲ 4	8	▲ 9	5	+ 4	+ 3
期末人員	人	5,057	2,109	4,852	2,067	+205	+42

(1) 主要指標 ②

(億円)

		08年度予想		07年度		06年度	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	認可枠合計	635	578	381	322	230	215
	実績(計上)	—	—	370	274	226	201
減価償却費		240	202	214	176	181	144
研究開発費		130	107	111	92	107	87